

記入見本

休業開始時賃金月額証明書

※この様式は記入見本ですので、正規の様式に転記したうえでご提出ください

| | | | | | |
|---|--|---|------------------|------------------|--------------------------|
| ① 被 ② 事 ⑤ | 【例3】 前職の離職票が必要となる場合 (育休を取得する事業所のみだと受給資格要件を満たさない場合) | ③ フリガナ | ④ 休業等を開始した日の年月日 | 令和 5 年 4 月 20 日 | |
| 事業所所在地 電話番号 | 住所 事業主 氏名 | 開始した者の住所又は居所 | | | |
| <p>⑦欄は、休業開始日を基準に1か月ごとに区切って記載します</p> <p>⑧欄と⑩欄の日数は、 月給制の場合は基本的には暦の日数(欠勤等により減額された場合にはその日数を引く)、 時給制・日給制の場合は賃金が発生した日数(就労日数だけでなく、有給休暇も参入)を記載します。</p> | | | | | |
| 休業等を開始した日以前の賃金支払状況 | | | | | |
| ⑦ 休業等を開始した日の前日に 離職したとみなした場合の 被保険者期間算定対象期間 | ⑧ ⑦の期間における 賃金支払 基礎日数 | ⑨ 賃金支払対象期 ※賃金締切日ごとに記載します。 (記載は未締めの場合の例) | ⑩ ⑨の 基礎 日数 | ⑪ 賃 金 額 A B 計 | ⑫ 備 考 |
| R5 3月20日 ~ 休業等を開始した日の前日 | 0 日 | R5 4月1日 ~ 休業等を開始した日の前日 | 0 日 | 入社日: R4.2.1 | 出産日 R5.2.22 |
| 12月20日 ~ 1月19日 | 30 日 | 1月1日 ~ 1月31日 | 18 日 | | 出産予定日 R5.3.1 |
| 11月20日 ~ 12月19日 | 30 日 | R4 12月1日 ~ 12月31日 | 31 日 | | 産前休業R5.1.19~ 産休中賃金支払無 |
| 10月20日 ~ 11月19日 | 31 日 | 11月1日 ~ 11月30日 | 30 日 | | |
| 9月20日 ~ 10月19日 | 30 日 | 10月1日 ~ 10月31日 | 31 日 | | |
| 8月20日 ~ 9月19日 | 31 日 | 9月1日 ~ 9月30日 | 30 日 | | |
| 7月20日 ~ 8月19日 | 31 日 | 8月1日 ~ 8月31日 | 31 日 | | |
| 6月20日 ~ 7月19日 | 30 日 | 7月1日 ~ 7月31日 | 31 日 | | |
| 5月20日 ~ 6月19日 | 31 日 | | | | |
| 4月20日 ~ 5月19日 | 30 日 | | | | |
| 3月20日 ~ 4月19日 | 31 日 | | | | |
| 2月20日 ~ 3月19日 | 28 日 | | | | |
| R4 2月1日 ~ 2月19日 | 19 日 | | | | |
| ⑬ 賃金に関する特記事項 | <p>R4.2.1~R4.2.19の間については、 ⑧欄は11日以上となっていますが、 ⑦欄が完全な1か月となっていないため、 11日以上ある月としてカウントすることはできません。</p> | | | | |
| <p>育児休業給付金には、 「休業開始日前2年間で、⑧欄が11日以上または就業した時間数が80時間以上ある完全月が12か月以上」という要件がありますが、 本ケースの場合、育休を取得する事業所のみでは、 休業開始日前2年間(R3.4.20~R5.4.19)の間、「⑧欄が11日以上または就業した時間数が80時間以上ある完全月」が11か月しかなく、上記の要件を満たしません。</p> <p>ただし、前職で雇用保険に加入しており、前職を離職してから入社するまでの間が1年以内で、かつ、基本手当の受給資格決定を受けていない場合は前職の雇用保険の加入期間を通算することができます(離職票の原本の提出が必要です)。</p> <p>前職の雇用保険の加入期間を通算し、休業開始日前2年間(R3.4.20~R5.4.19)で、「⑧欄が11日以上または就業した時間数が80時間以上ある完全月が12か月以上」という要件を満たせば育児休業給付金の対象となる可能性があるということになります。 *育児休業給付金の要件は他にもございますので、「育児休業給付の内容と支給申請手続」等のリーフをご参照ください。</p> | | | | | |
| * 前職の離職票は、育児休業取得のご本人へお持ちかどうか確認してください。 | | | | | |